

使えるフランス語表現 1 : **Ça m'est égal**

作成者 : 中村 弥生

1. イントロダクション

「Ça m'est égal」は、なんでもいい、どっちでもいいというときに使います。友だちとごはんを食べにいくとき、「どこへ行こうか?」と言われて、「どこでもいいよ。」と言いたいときにも、この「Ça m'est égal」という表現がつかえます。

2. 例 (exemple)

では、ピエール (ピ) と菜々 (な) の会話を聞いてみましょう。

* * * * *

な「今度の日曜、どうする?」

ピ「Ça m'est égal. 菜々は何したい?」

な「う〜ん、じゃ、えいがでも見に行く?」

ピ「いいね、何見ようか?」

な「ピエールは?」

ピ「Ça m'est égal. 菜々が見たいものでいいよ!」

な「そう?じゃあ、北野の新しい映画にしようか?」

ピ「OK!じゃあ、どこに見に行く?」

な「そうそう、この間ね、有楽町 (ゆうらくちょう) のえいが館に行ったら、けっこうよかったよ。でもピエールは、新宿 (しんじゅく) のえいが館が好きだったよね?どっちがいい?」

ピ「Ça m'est égal. 有楽町のえいが館でもいいよ。ごはんはどうする?」

な「そうだなあ、何がいいかな・・・おいしいイタリアンとかいいかも。ピエールは?」

ピ「Ça m'est complètement égal. 菜々が食べたいものでいいよ。」

な「そう?じゃ、ベトナム料理にしようか。でも、なんか全部私に決めさせてない?」

3. 説明 (explication)

「Ça m'est égal」は、直訳（ちよくやく）すると「それは私にとって同じです。」という意味です。

4. 応用 (développement)

「本当にどっちでもいい」と強調（きょうちょう）したいときには、「Ça m'est **complètement** égal」または「Ça m'est **vraiment** égal」というふうに副詞（ふくし）を入れます。

また、「ぼく／私は本当にどっちでもいいから、きみの好きにしていよ。」と言いたいときには、「Comme tu veux ! Ça m'est vraiment égal」と言ってください。